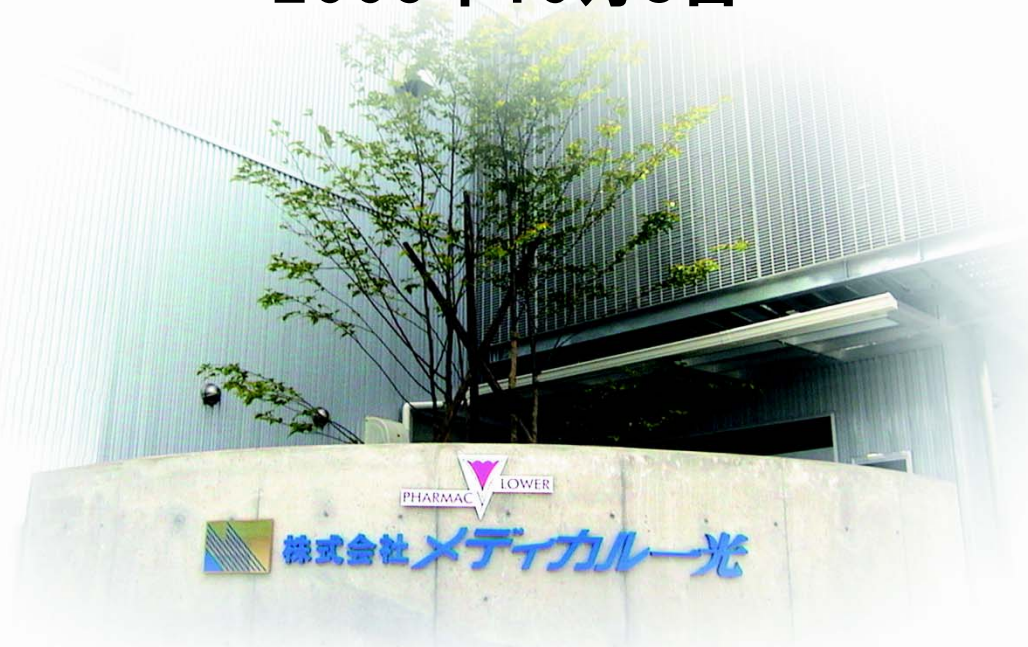


# 株式会社メディカルー光

## 2010年2月期 第2四半期決算説明会

2009年10月8日



代表取締役副社長 西井 文平

**JASDAQ**

(証券コード：3353)

# **I. 当社の事業展開**

## **I. 当社の事業展開**

## **II. 事業を取り巻く環境変化**

## **III. 第2四半期決算概要**

## **IV. セグメント別事業展開**

## ■ 事業展開

☆ 医療と介護に特化

☆ 安全性を最優先

第二の成長エンジン

ヘルスケア事業

医薬品卸事業

コア事業

調剤薬局事業

不動産事業

(株)メディカル一光  
(調剤薬局事業・不動産事業)

(株)ヘルスケア一光  
(ヘルスケア事業)

(株)メディシン一光  
(医薬品卸事業)

平安薬局(株)  
(調剤薬局事業)

(有)メデコア  
(調剤薬局事業)

(株)山梨薬剤センター  
(調剤薬局事業)

## II. 事業を取り巻く環境変化

I. 当社の事業展開

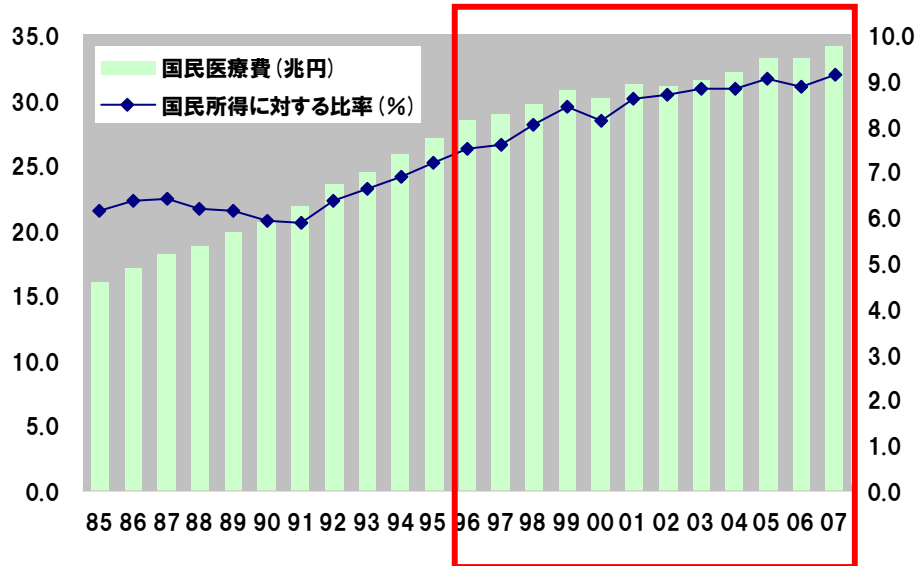
II. 事業を取り巻く環境変化

III. 第2四半期決算概要

IV. セグメント別事業展開

# 国民医療費の動向

国民医療費と対国民所得比の年次推移 (厚生労働省)



## 2007年度国民医療費

34兆1,360億円

(対前年比 1兆84億円増加 +3.0%)

## 国民医療費の国民所得に対する比率

9.11% (前年 8.87% +0.24P)

## 介護保険費用額の動向

2000年度 3兆6千億円

2007年度 6兆4千億円(2兆8千億円増加)

## 国民医療費の対前年度増加額(兆円)

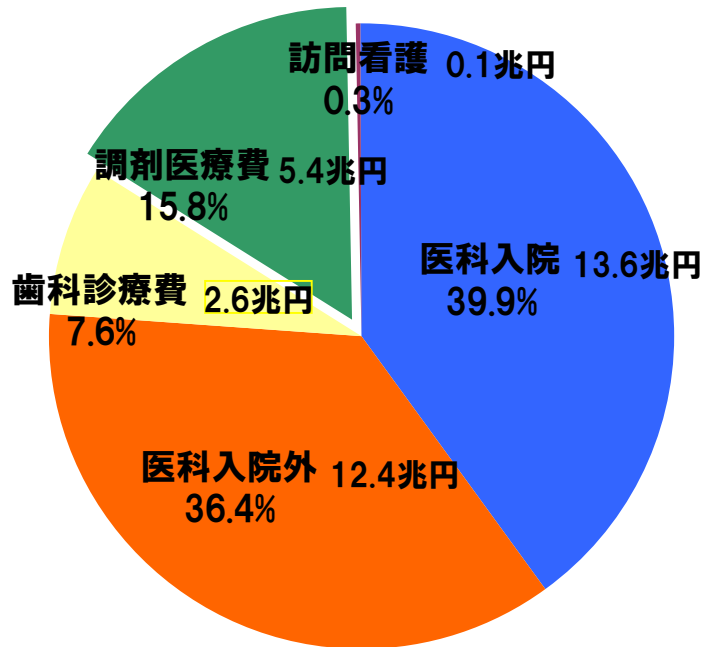
	96年	97年	98年	99年	00年	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年
国民医療費	28.5	28.9	29.6	30.7	30.1	31.1	31.0	31.5	32.1	33.1	33.1	34.1		
前年対比増加額		0.4	0.7	1.1	▲0.6	1.0	▲0.1	0.5	0.6	1.0	▲0.0	1.0		
診療報酬・薬価改定			●				●		●		●		▲	
医療保険自己負担	●	●			●		●	●			●			

介護保険制度の導入により国民医療費の対象範囲が小さくなる

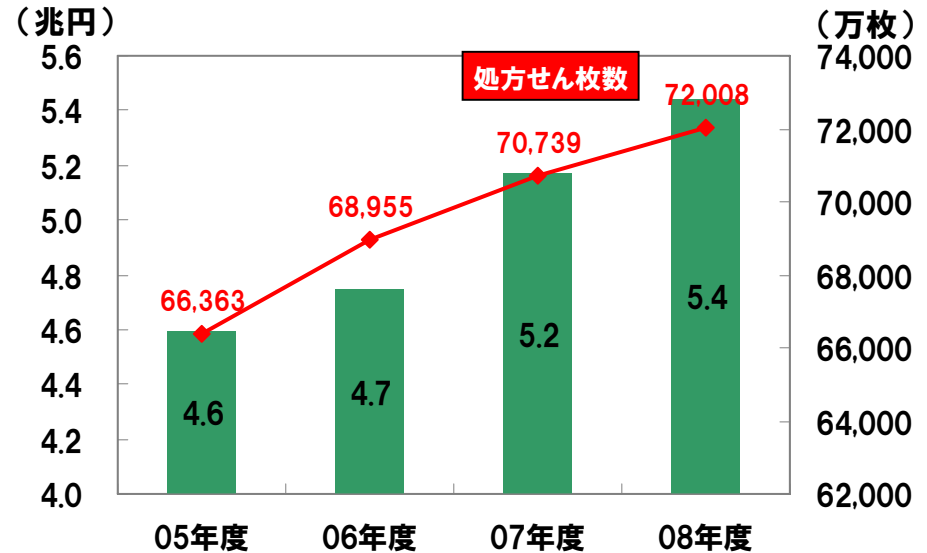
## ■ 調剤薬局業界を取り巻く環境

### 【診療種類別の概算医療費（全数）】

全体で**34.1兆円**(H20.4~H21.3)



### 【調剤医療費と処方箋枚数の推移】



**医科入院**

医科入院にかかる診療費

**医科入院外**

医科入院外にかかる診療費

**歯科診療費**

歯科診療にかかる診療費

**調剤医療費**

保険薬局を通じて支給される薬剤等の額(技術料と薬剤料の合計)

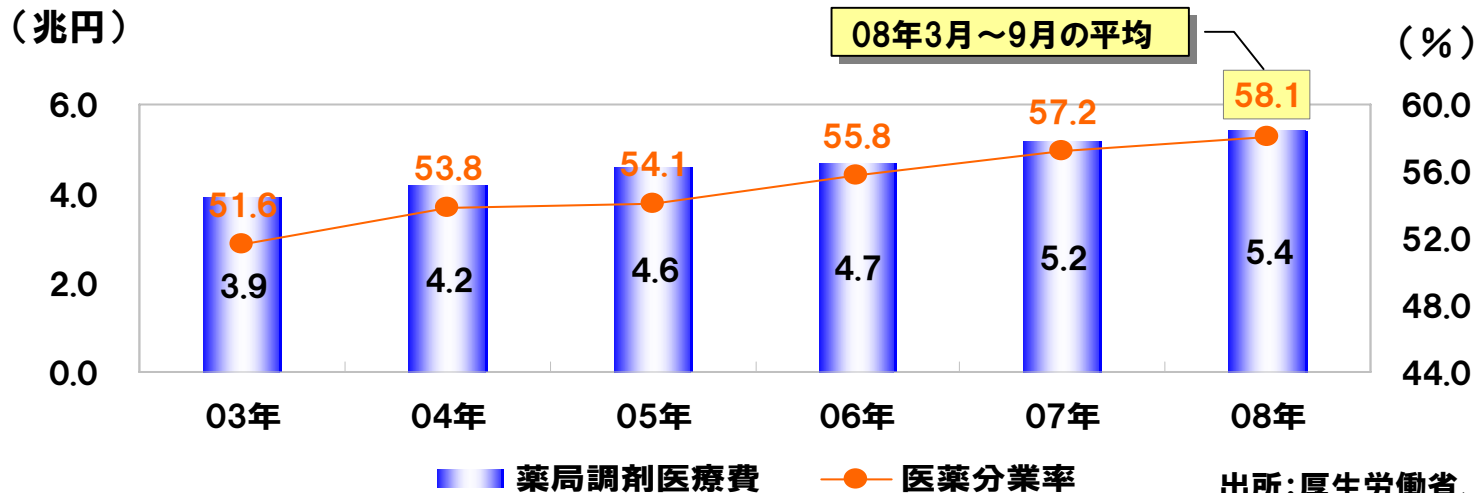
**訪問看護**

訪問看護療養費、老人訪問看護療養費およびそれぞれの基本利用料の合計

# 調剤医療費と医薬分業率

◆調剤医療費は5兆4千億円、調剤市場は穏やかな拡大

調剤医療費と医薬分業率



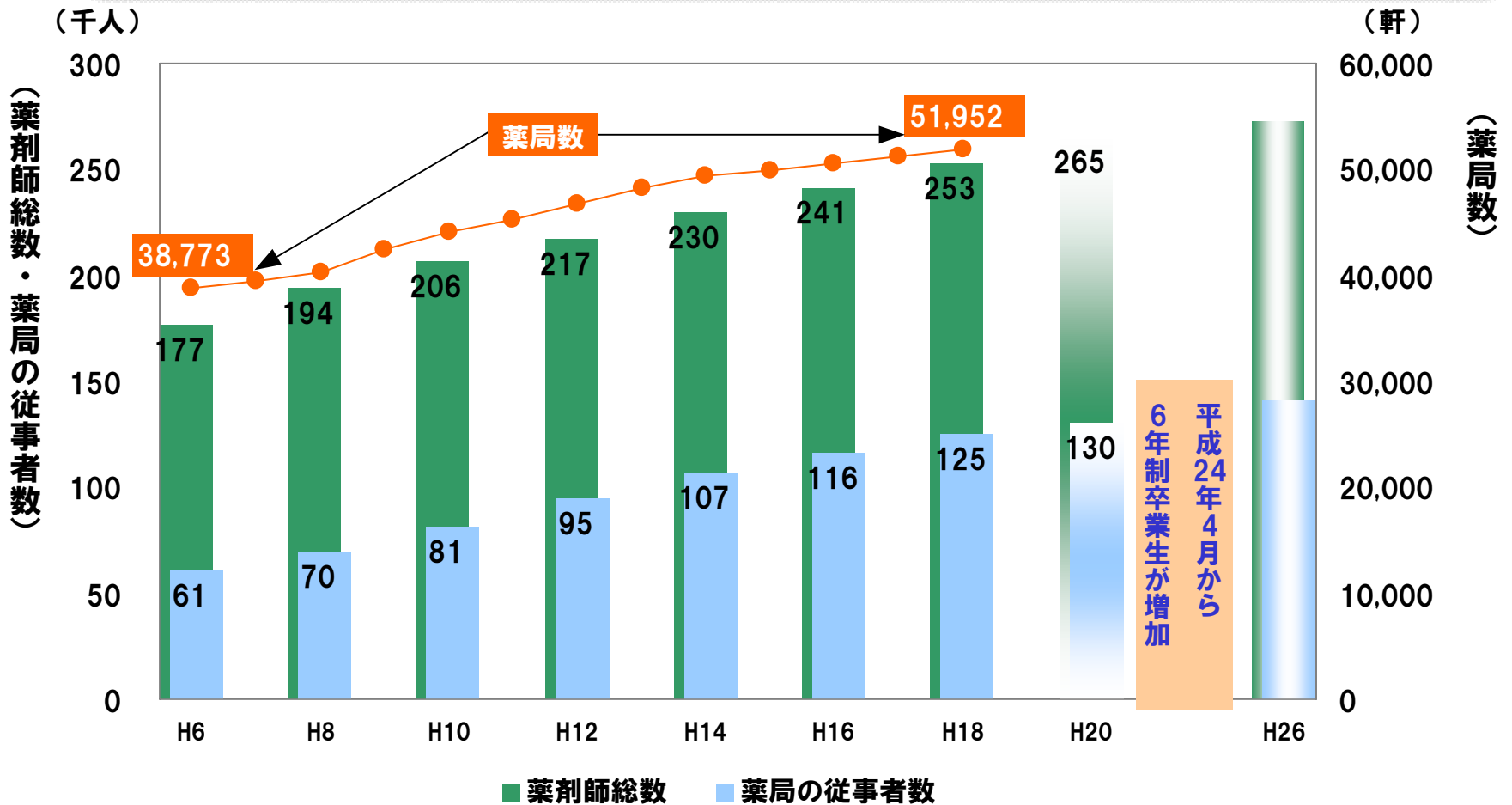
◆分業率 上位の都道府県

	2008年9月	2007年9月	増減
①秋田	76.3%	73.8%	+2.5%
②神奈川	72.0%	70.4%	+1.6%
③佐賀	70.6%	69.3%	+1.3%
④新潟	70.0%	67.3%	+2.7%
⑤宮城	69.1%	66.4%	+2.7%

◆分業率 下位の都道府県

	2008年9月	2007年9月	増減
①福井	27.5%	25.4%	+2.1%
②和歌山	34.1%	32.0%	+2.1%
③京都	37.4%	34.4%	+3.0%
④徳島	38.4%	35.7%	+2.7%
⑤愛媛	39.8%	37.4%	+2.4%

# ■ 薬剤師数の推移と予測



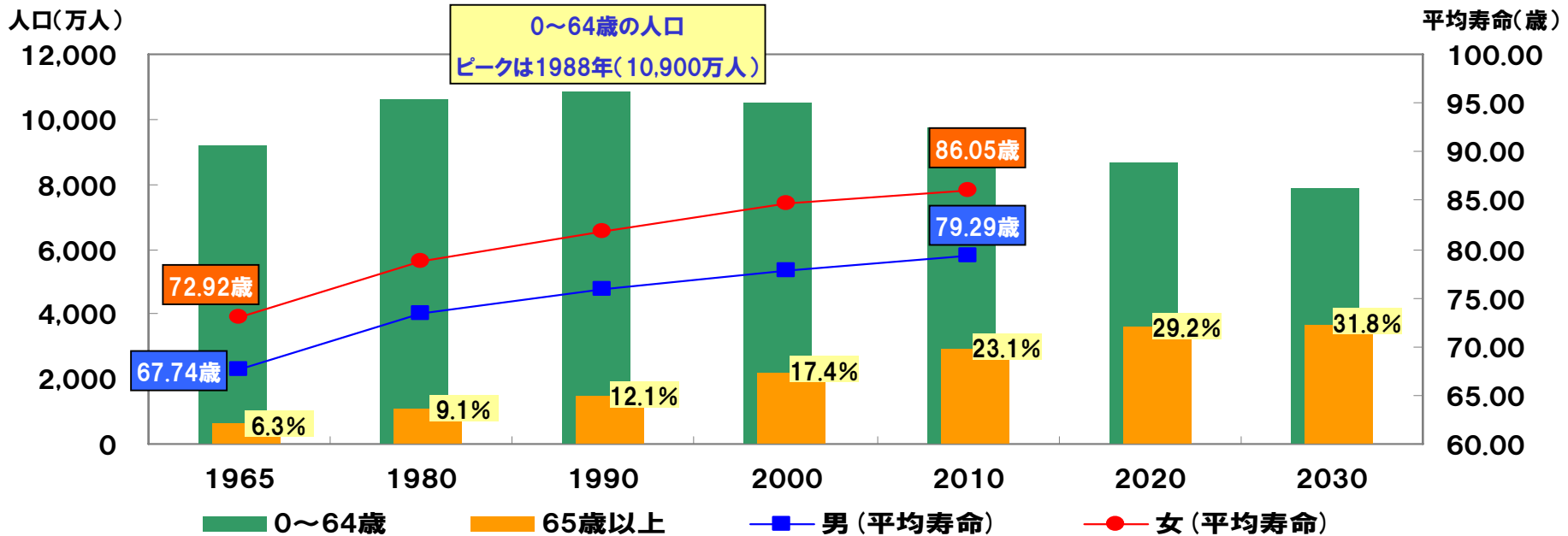
H18年までの薬剤師総数および薬局の従事者数は、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」を参照。薬局数は「薬事関係業態数」を参照。H20年は当社の推定値。

## ■ 第94回薬剤師国家試験

受験者数	合格者数	合格率
15,189名	11,300名	74.40%



# 人口推移と平均寿命



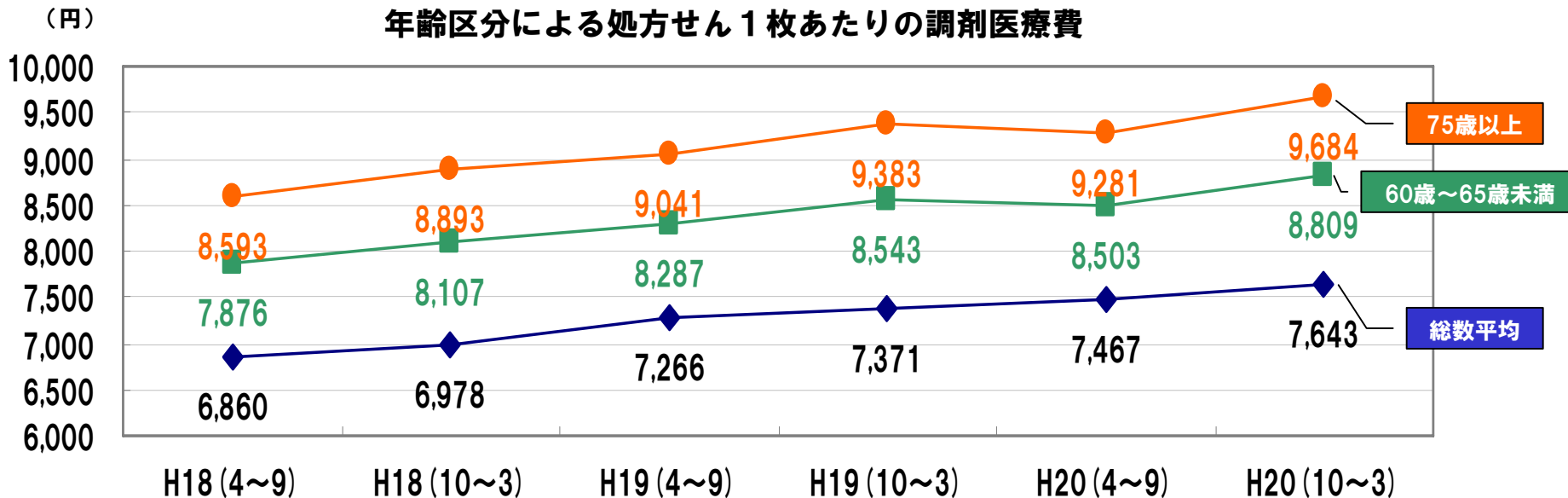
【人口推移】（単位：万人）

	1965	1980	1990	2000	2010	2020	2030
0～64歳	9,209	10,641	10,868	10,489	9,776	8,684	7,855
65歳以上	618	1,065	1,493	2,204	2,941	3,590	3,667
総人口	9,828	11,706	12,361	12,693	12,718	12,274	11,522
65歳以上の比率	6.3%	9.1%	12.1%	17.4%	23.1%	29.2%	31.8%

【平均寿命】（単位：歳）

	1965	1980	1990	2000	2008
男	67.74	73.35	75.92	77.72	79.29
女	72.92	78.76	81.90	84.60	86.05

# ■ 年齢区分による調剤医療費



【高齢者の調剤医療費（処方せん1枚あたりの単価）】

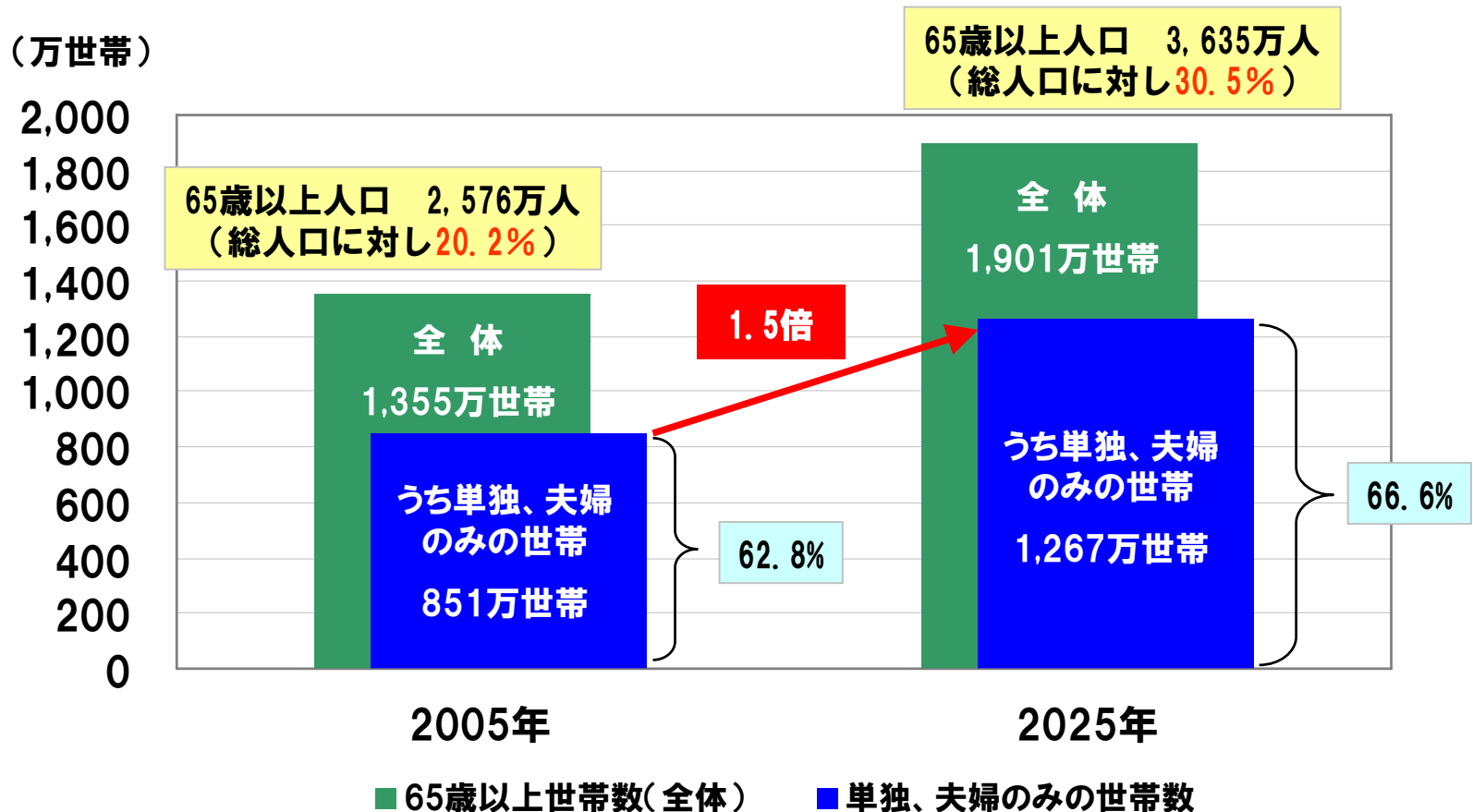
（単位：円）

	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
総数平均	6,860	6,978	7,266	7,371	7,467	7,643
60歳以上65歳未満	7,876	8,107	8,287	8,543	8,503	8,809
65歳以上70歳未満	8,072	8,299	8,472	8,716	8,645	8,969
70歳以上75歳未満	8,309	8,571	8,726	9,011	8,926	9,282
75歳以上	8,593	8,893	9,041	9,383	9,281	9,684

出所：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」

## ■ 高齢者世帯の将来推計

◆ 2025年、高齢者世帯は1,267万世帯超に



# 改正薬事法(2009年6月1日施行)

一般用医薬品の販売開始(2009年6月1日に全面施行)

	薬剤師	登録販売者	情報提供
第1類医薬品	○	×	義務
第2類医薬品	○	○	努力義務
第3類医薬品	○	○	不要

**登録販売者制度**

2008年度合格者 58,715名

2009年度合格者 5,472名

## 1. 日経新聞記事(2009.6.30) ★規制緩和により大衆薬の値下げ広がる

ダイエー 一般用医薬品約280品目を平均30%値下げ  
 「第2類・3類」における1兆2千億円の成長市場の争奪戦が本格化

## 2. 薬事日報(2009.7.17) ★第1類医薬品の販売店率が急落

第1類医薬品の販売店舗と「第2類・3類」のみを販売する店舗に区分の動き  
 第1類医薬品の販売店舗は、約83%から大幅に低下

## 3. 日経新聞記事(2009.8.24) ★小売再編 業態超え加速

医薬品販売の規制緩和で、ドラッグとコンビニの垣根は低く--  
 流通企業の医薬品販売戦略が加速  
 ドラッグストアとコンビニの提携(医薬品販売事業と食品事業の連携)

## 4. 主な連携企業

マツモトキヨシ⇔ローソン  
 クオール⇔ローソン

アインファーマシーズ⇔セブン&アイHD  
 グローウェルHD⇔ミニストップ

## Ⅲ. 第2四半期決算概要

### Ⅰ. 当社の事業展開

### Ⅱ. 事業を取り巻く環境変化

### Ⅲ. 第2四半期決算概要

### Ⅳ. セグメント別事業展開

# 2010年2月期 第2四半期 連結PL

☆第2四半期連結実績は、売上の増加と経費の効率運用により順調に推移  
 ~今期にて、7期連続の増収増益見込み（経常利益ベース）

## 【計画比】

（単位：百万円）

	第2四半期累計		計画比	
	計画	今期実績	増減額	計画比(%)
売上高	8,135	8,528	+392	104.8%
売上原価	7,324	7,608	+284	103.9%
売上総利益	810	920	+109	113.6%
販管費	450	450	0	100.0%
営業利益	359	470	+111	130.9%
経常利益	301	413	+112	137.2%
四半期純利益	143	201	+58	140.6%

## 【コメント】

- ①売上増加により売上総利益が増加  
+109百万円
- ②販管費は計画どおり
- ③営業利益は470百万円となり計画比  
30.9%増

## 【前期比】

（単位：百万円）

	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	前期比(%)
売上高	7,937	8,528	+591	107.5%
売上原価	7,158	7,608	+449	106.3%
売上総利益	778	920	+141	118.2%
販管費	460	450	△10	97.8%
営業利益	318	470	+151	147.7%
経常利益	258	413	+155	160.1%
四半期純利益	120	201	+81	167.9%

## 【コメント】

- ①売上増加 +591百万円  
調剤薬局事業 売上増加 +498百万円  
その他事業売上増加 +93百万円
- ②販管費は前期比△10百万円  
諸経費及び採用費用の減少等

# 2010年2月期 第2四半期(連結)

## 売上総利益

☆売上総利益が大幅に改善 計画比 +109百万円 前期比 +142百万円  
 ~店舗効率の向上と、メディカル一光グループ企業の成長

【計画比】

(単位:百万円)

	第2四半期累計		計画比	
	計画	今期実績	増減額	計画比(%)
売上高	8,135	8,528	+392	104.8%
(材料費)	5,487	5,827	+340	106.2%
粗利益	2,648	2,701	+52	102.0%
(%)	32.55%	31.67%	-	0.88%
(労務費)	1,288	1,253	△35	97.3%
(設備関係費)	316	306	△10	96.8%
(諸経費)	231	219	△12	94.8%
売上総利益	810	920	+109	113.2%

【コメント】

1. 調剤の売上増加 +395百万円
2. 売上総利益増加 +109百万円
  - ①売上増加要因 +52百万円
  - ②労務費の計画比減少 △35百万円  
(新店舗要因、予備費ほかの減少)
  - ③設備関係費は賃借料の減少等  
(賃借物件がグループ会社所有となる)
  - ④諸経費の減少 △12百万円

【前期比】

(単位:百万円)

	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	前期比(%)
売上高	7,937	8,528	+591	107.5%
(材料費)	5,447	5,827	+380	107.0%
粗利益	2,490	2,701	+211	108.5%
(%)	31.37%	31.67%	-	0.30%
(労務費)	1,204	1,253	+49	104.1%
(設備関係費)	300	306	+6	102.0%
(諸経費)	206	219	+13	106.3%
売上総利益	778	920	+142	118.3%

【コメント】

1. 調剤の売上増加 +498百万円
  - ・その他事業の売上増加 +93百万円
2. 売上総利益要因 +142百万円
  - ①前期は薬価改定要因 △45百万円
  - ②労務費の増加 +49百万円  
(調剤事業+21百万円、新規事業+27百万円)
  - ③設備関係費は新規事業ほか
  - ④諸経費の増加 +13百万円  
(新規事業ほか)

# ■ 2010年2月期 第2四半期(連結)

## 販管費

☆販管費の現状維持が保たれており、販管費率は低下 計画比  $\Delta 0.25\%$  前期比  $\Delta 0.52\%$   
 ～店舗効率の向上により、メディカル一光グループ企業の収益が安定

【計画比】

(単位:百万円)

	第2四半期累計		計画比	
	計画	今期実績	増減額	計画比(%)
売上高	8,135	8,528	+392	104.8%
売上総利益	810	920	+109	113.6%
(人件費)	242	248	+6	102.5%
(設備関係費)	61	65	+4	106.6%
(諸経費)	146	136	$\Delta 10$	93.2%
販管費合計	450	450	0	100.0%
(%)	5.53%	5.28%	-	$\Delta 0.25\%$
(営業利益)	359	470	+111	130.9%

【コメント】

- ①販管費 計画比増減なし  
(販管費率 計画比  $\Delta 0.25\%$ )
- ②人件費の増加 +6百万円  
・新規事業への人員増強
- ③設備関係費の増加 +4百万円  
・子会社費用が中心(償却含む)
- ④諸経費の減少  $\Delta 10$ 百万円  
・採用費用等が計画比減少

【前期比】

(単位:百万円)

	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	前期比(%)
売上高	7,937	8,528	+591	107.5%
売上総利益	778	920	+142	118.3%
(人件費)	239	248	+9	103.8%
(設備関係費)	60	65	+5	108.3%
(諸経費)	160	136	$\Delta 24$	85.0%
販管費合計	460	450	$\Delta 10$	97.8%
(%)	5.80%	5.28%	-	$\Delta 0.52\%$
(営業利益)	318	470	+152	147.8%

【コメント】

- ①販管費 前期比  $\Delta 10$ 百万円  
(販管費率 前期比  $\Delta 0.52\%$ )
- ②人件費の増加 +9百万円  
・子会社を含めた事業部・営業部の強化
- ③設備関係費の増加 +5百万円  
・子会社費用が中心(償却含む)
- ④諸経費の減少  $\Delta 24$ 百万円  
・採用費用等が計画比減少



## ■ セグメント別実績

☆前年同期比は各事業とも増収・増益を確保

☆ヘルスケア事業は、介護施設の運営、医療施設等の賃貸業務を行っています

介護施設は、現在3施設を運営

(単位:百万円)

第2四半期累計	09年2月期 第2四半期		10年2月期 第2四半期		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
【売上高合計】	7,937	100.0%	8,528	100.0%	+591	7.5%
調剤薬局事業	7,426	93.6%	7,924	92.9%	+498	6.7%
医薬品卸事業	273	3.4%	314	3.7%	+41	15.0%
ヘルスケア事業	200	2.5%	253	3.0%	+52	26.2%
不動産事業	37	0.5%	36	0.4%	0	△0.5%
内部売上相殺	78	1.0%	96	1.1%	+17	22.6%

(注1) 不動産事業は、一般不動産の賃貸のみ(商業施設、ホテル賃貸等)

(単位:百万円)

第2四半期累計	09年2月期 第2四半期		10年2月期 第2四半期		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
【営業利益合計】	318	-	470	-	+151	47.7%
[共通経費除く]	526	100.0%	681	100.0%	+155	29.5%
調剤薬局事業	462	88.0%	599	88.1%	+137	29.7%
医薬品卸事業	11	2.2%	21	3.1%	+9	81.0%
ヘルスケア事業	38	7.4%	39	5.9%	+1	2.8%
不動産事業	12	2.4%	19	2.9%	+7	56.8%
共通経費	207	39.5%	210	31.0%	+3	1.6%

(注1) 不動産事業は、一般不動産の賃貸のみ(商業施設、ホテル賃貸等)

# 業績推移

株式会社メディカル一光

☆2010年 通期計画は現在策定中。10月末までには開示させていただきます。

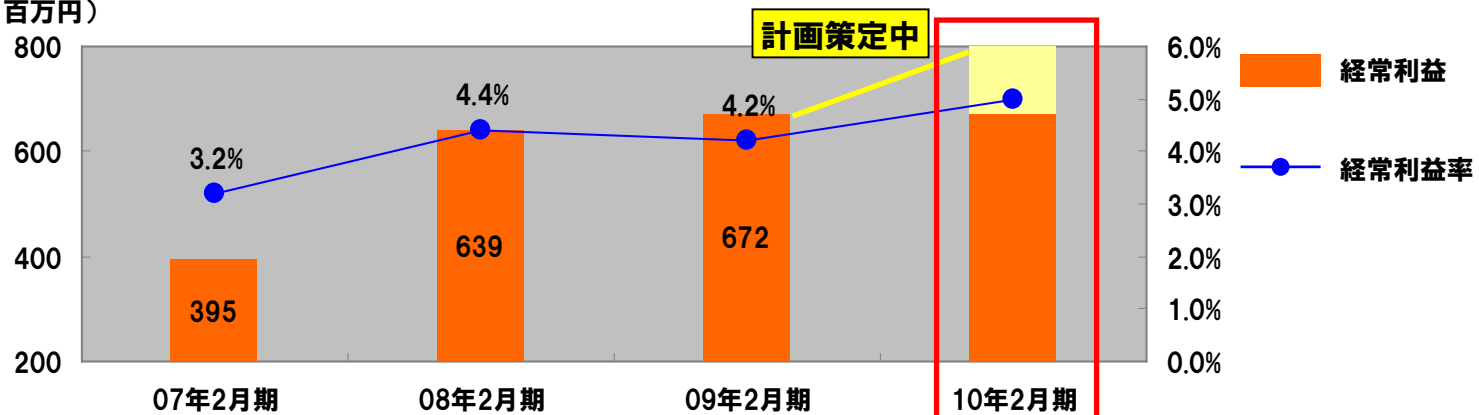
薬価改定

薬価改定

(単位：百万円)

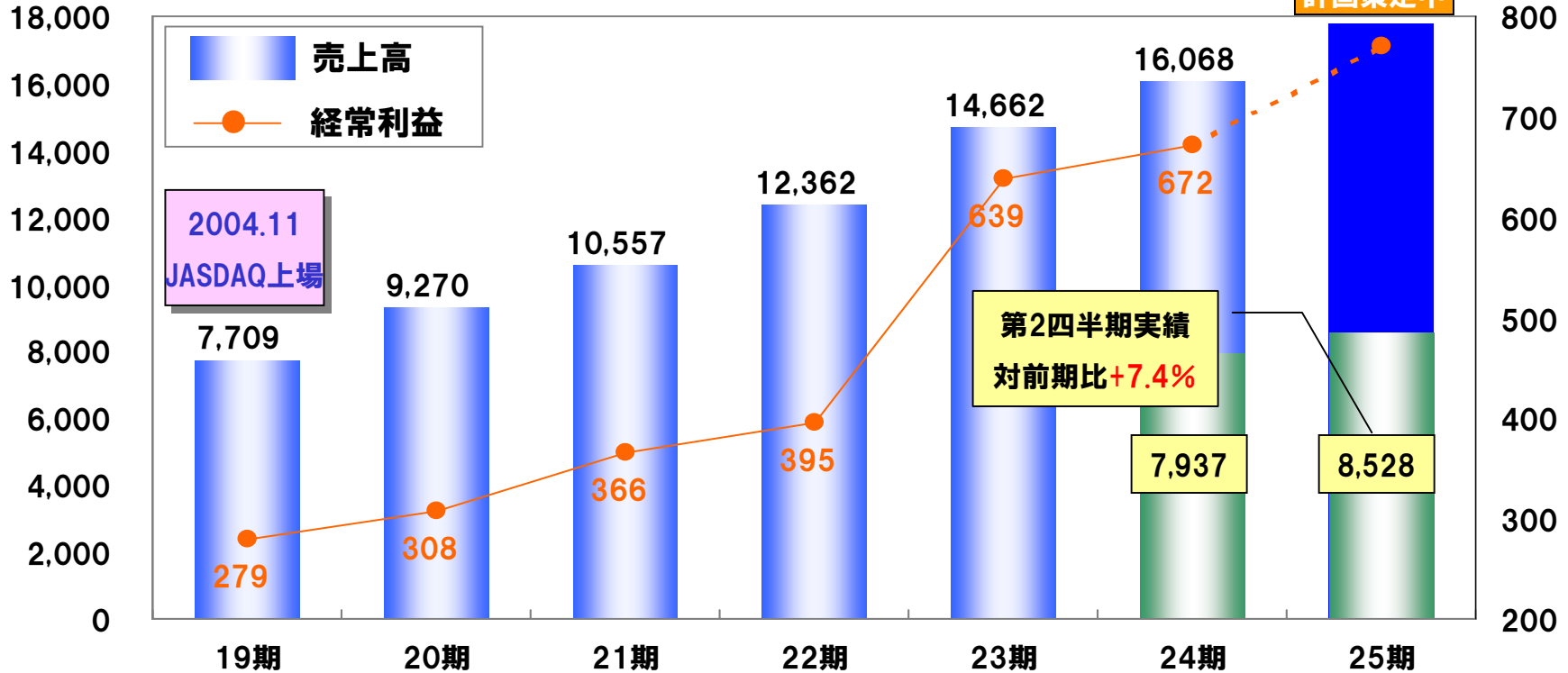
	07年2月期	08年2月期	09年2月期	10年2月期	
				当初計画	上期計画増
売上高	12,362	14,662	16,068	16,282	+392
販管費	701	821	888	864	0
(%)	(5.6%)	(5.6%)	(5.5%)	(5.3%)	-
営業利益	428	712	749	756	+111
(%)	(3.5%)	(4.9%)	(4.7%)	(4.6%)	-
経常利益	395	639	672	672	+112
(%)	(3.2%)	(4.4%)	(4.2%)	(4.1%)	-
当期純利益	46	289	329	331	+58
(%)	(0.4%)	(2.0%)	(2.0%)	(2.0%)	-

(百万円)



## ■ 売上高・経常利益の推移

(百万円)



純資産 (百万円)	1,639	2,015	2,145	2,101	2,683	2,826	3,070
1株配当金 (円)	3,000	3,600	3,600	3,600	4,000	5,000	—

(配当金は実績)

# 2010年2月期 第2四半期 連結B/S

(単位:百万円)

	09年2月期		10年2月期 第2四半期		増減額	当期の増減要因
		構成比		構成比		
<b>流動資産</b>	3,946	39.3%	4,687	42.5%	+741	現預金 +580 売掛金 +123 たな卸資産 +9
現預金	1,435	14.3%	2,015	18.3%	+580	
売掛金	1,715	17.1%	1,839	16.7%	+123	
その他	795	7.9%	832	7.5%	+37	
<b>固定資産</b>	6,100	60.7%	6,342	57.5%	+241	(有)カナエ連結(介護施設) +250 新店投資(土地・建仮) +53 減価償却費 △108 のれん償却 △39 (有)カナエのれん +74
有形固定資産	4,072	40.5%	4,296	38.9%	+223	
無形固定資産	1,069	10.6%	1,107	10.0%	+38	
その他	958	9.5%	938	8.5%	△20	
<b>資産合計</b>	10,047	100.0%	11,030	100.0%	+982	
<b>流動負債</b>	3,912	38.9%	4,561	41.4%	+648	買掛金の増加 +212 未払法人税等 +58
買掛金	2,123	21.1%	2,335	21.2%	+212	
借入金	1,354	13.5%	1,729	15.7%	+374	
その他	434	4.3%	496	4.5%	+61	
<b>固定負債</b>	3,227	32.1%	3,393	30.8%	+166	長期借入金 +529 (内、カナエ分) (+283)
長期借入金	2,876	28.6%	3,030	27.5%	+154	
その他	351	3.5%	362	3.3%	+11	
<b>純資産合計</b>	2,907	28.9%	3,075	27.9%	+167	利益剰余金 +153
<b>負債・純資産合計</b>	10,047	100.0%	11,030	100.0%	+982	(配当金支払 △48)

# ■ 2010年2月期 第2四半期 連結CF

(単位:百万円)

	09年2月期 通期	10年2月期 第2四半期	合 算
営業活動による キャッシュフロー	588	478	+1,067
投資活動による キャッシュフロー	△422	△94	△516
財務活動による キャッシュフロー	△606	196	△410
現金等の増減額	△440	580	+139

(単位:百万円)

	09年2月期 通期	10年2月期 第2四半期	増減額
現金等の期首残高	1,868	1,428	△440
現金等の期末残高	1,428	2,008	+580

## 第2四半期の要因

### 【営業活動によるCF】

税金等調整前純利益	+396
減価償却費、のれん償却費	+148
売上債権の増加	△123
仕入債務の増加	+211
法人税の支払い	△144

### 【投資活動によるCF】

有形固定資産の取得	△65
-----------	-----

### 【財務活動によるCF】

長短借入金の調達・返済	+242
配当金の支払い	△48

### <その他の投資>

H21年3月に(有)カナエを100%子会社化  
(介護付き有料老人ホームの資産会社)

固定資産257、長期借入金287

資産合計302

～連結会社となり、投資には含まれていない

## ■ 主な投資内訳

### 【投資内訳】

(単位:百万円)

	06年2月期	07年2月期	08年2月期	09年2月期	10年2月期 第2四半期	合 計
調剤薬局事業	287	788	647	71	53	1,846
(新店舗)	287	81	55	71	53	547
(M&A)	—	707	592	—	—	1,299
介護事業	0	27	93	324	5	449
メディカルモール	1	89	19	—	0	109
不動産事業他	52	362	29	2	31	476
合 計	340	1,266	788	397	90	2,881

### 【フリー・キャッシュフロー】

(単位:百万円)

	06年2月期	07年2月期	08年2月期	09年2月期	10年2月期 第2四半期	合 計
営業キャッシュ・フロー	605	515	350	588	478	2,536
投資キャッシュ・フロー	△423	△1,215	△927	△422	△94	△3,081
フリー・キャッシュフロー	182	△700	△577	166	384	△545

## IV. セグメント別事業展開

### I. 当社の事業展開

### II. 事業を取り巻く環境変化

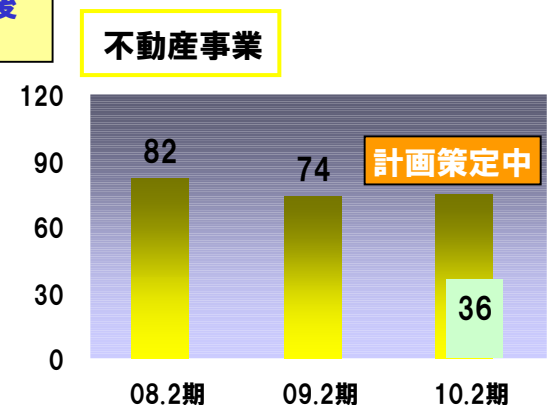
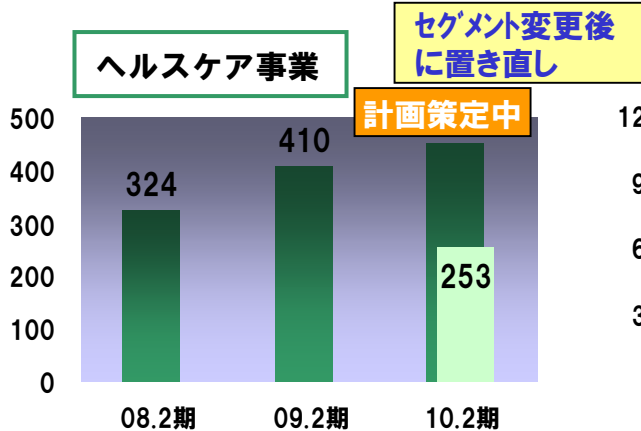
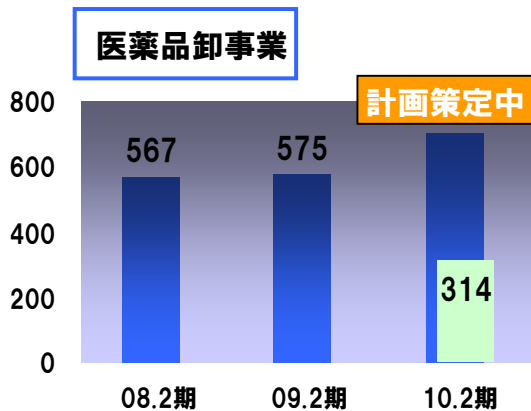
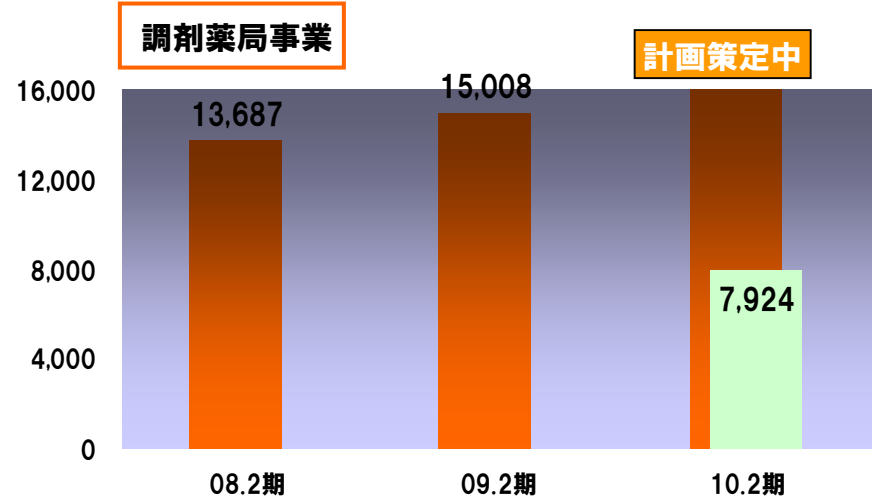
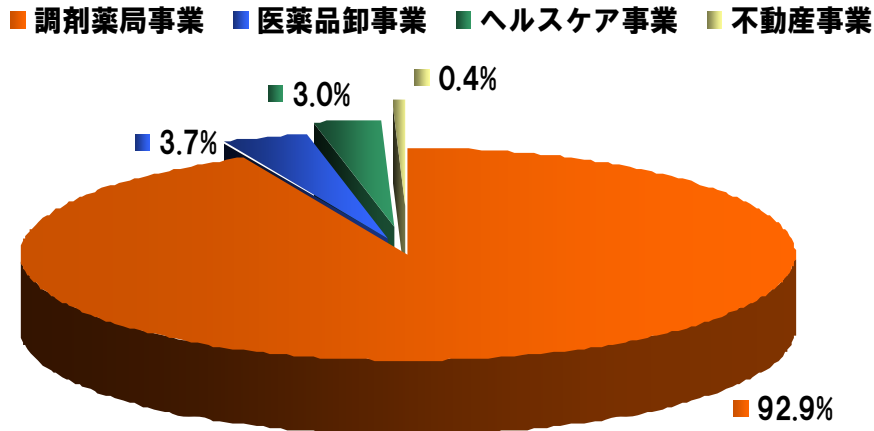
### III. 第2四半期決算概要

### IV. セグメント別事業展開

# ■ セグメント別の展開



事業部門別売上高推移 (単位:百万円)



※07.2期から09.2期は実績値、10.2期は計画値および第2四半期の実績値



# ■ 調剤薬局事業

## 既存店、新規店別の売上高

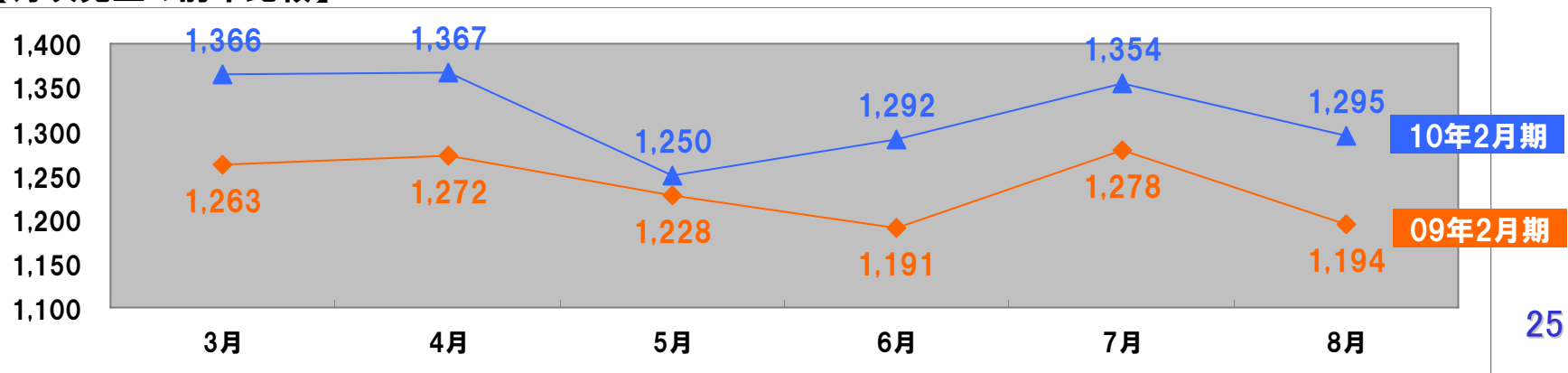
- ☆既存店売上が増加（前年比 +5.6%）
- ☆新規店舗は09.2期 2店舗、10.2期は下期に2店舗を予定

### 【売上構成】

（単位：百万円）

	09年2月期 第2四半期累計	10年2月期 第2四半期累計	増減額	前期比	備考
売上高	7,426	7924	+498	106.7%	
既存店	7,231	7639	+408	105.6%	
09.2期出店	195	285	+90	146.2%	2店舗(上期1、下期1)
10.2期出店	0	0	-	-	2店舗(下期2)
閉路店	0	0	-	-	

### 【月次売上の前年比較】



# 調剤薬局事業

## 売上原価と売上総利益

☆薬剤料、技術料とも計画比増収

☆既存店の売上増加により、労務費率、諸経費率が低下し売上総利益を押し上げ

(単位:百万円)

	08年2月期		09年2月期		10年2月期 第2四半期累計		前年通期 との比較	10年2月期 第2四半期累計	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比		計画	増減額
売上高合計	13,687	100.0%	15,008	100.0%	7,924	100.0%	52.8%	7,531	+393
薬剤料	10,607	77.5%	11,687	77.9%	6,249	78.9%	53.5%	5,868	+381
技術料	2,994	21.9%	3,223	21.5%	1,628	20.5%	50.5%	1,618	+10
その他	86	0.6%	98	0.7%	47	0.6%	48.0%	45	+2
売上原価合計	12,438	90.9%	13,665	91.0%	7,189	90.7%	52.6%	6,882	+307
材料費	9,552	69.8%	10,527	70.1%	5,602	70.7%	53.2%	5,262	+340
労務費	2,091	15.3%	2,316	15.4%	1,171	14.8%	50.6%	1,197	△26
設備関係費	481	3.5%	490	3.3%	245	3.1%	50.0%	244	+1
諸経費	314	2.3%	332	2.2%	171	2.2%	51.5%	179	△8
売上総利益	1,251	9.1%	1,347	9.0%	735	9.3%	54.6%	649	+86

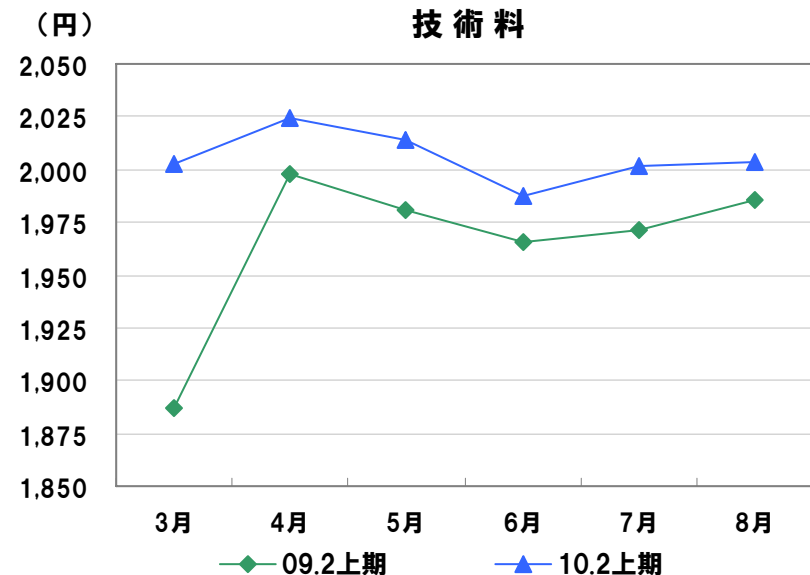
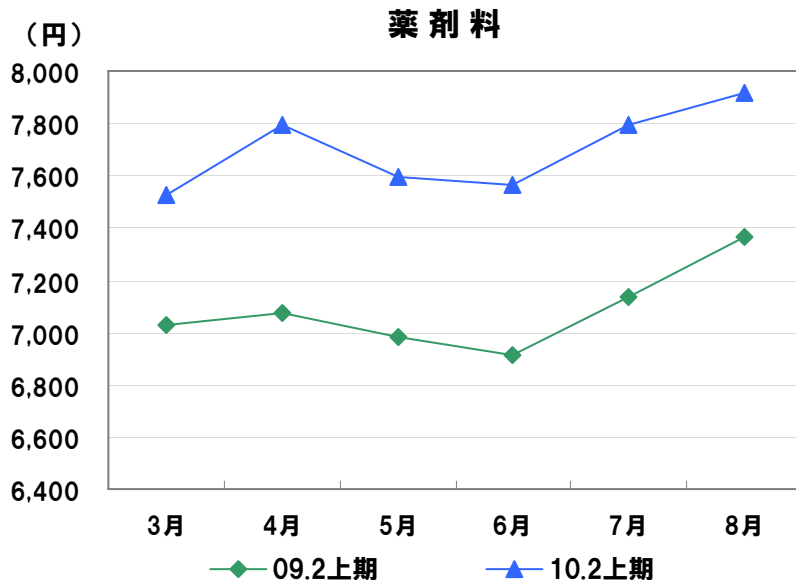
# ■ 調剤薬局事業

## 処方せん枚数、処方せん単価の前年比較 株式会社メディカル一光

### 【売上構成】

	09年2月期 第2四半期	10年2月期 第2四半期	増減	前年比
処方せん枚数(枚)	815,326	811,934	△3,392	99.6%
処方せん単価(円)	9,043	9,702	659	107.3%
薬剤料単価	7,079	7,696	617	108.7%
技術料単価	1,964	2,006	42	102.1%

### 【月別売上の前年比較】



# 調剤薬局事業 処方せん単価の推移

## 【調剤薬局 全店舗】

	第23期中間	第25期中間	増減
店舗数(店)	68	71	+3
薬剤料売上(百万円)	5,027	6,249	+1,222
技術料売上(百万円)	1,469	1,628	+159
1枚あたり処方せん単価	8,363	9,702	+1,339
(薬剤料単価/円)	6,472	7,696	+1,224
(技術料単価/円)	1,891	2,006	+115

## 【病院 門前店舗】

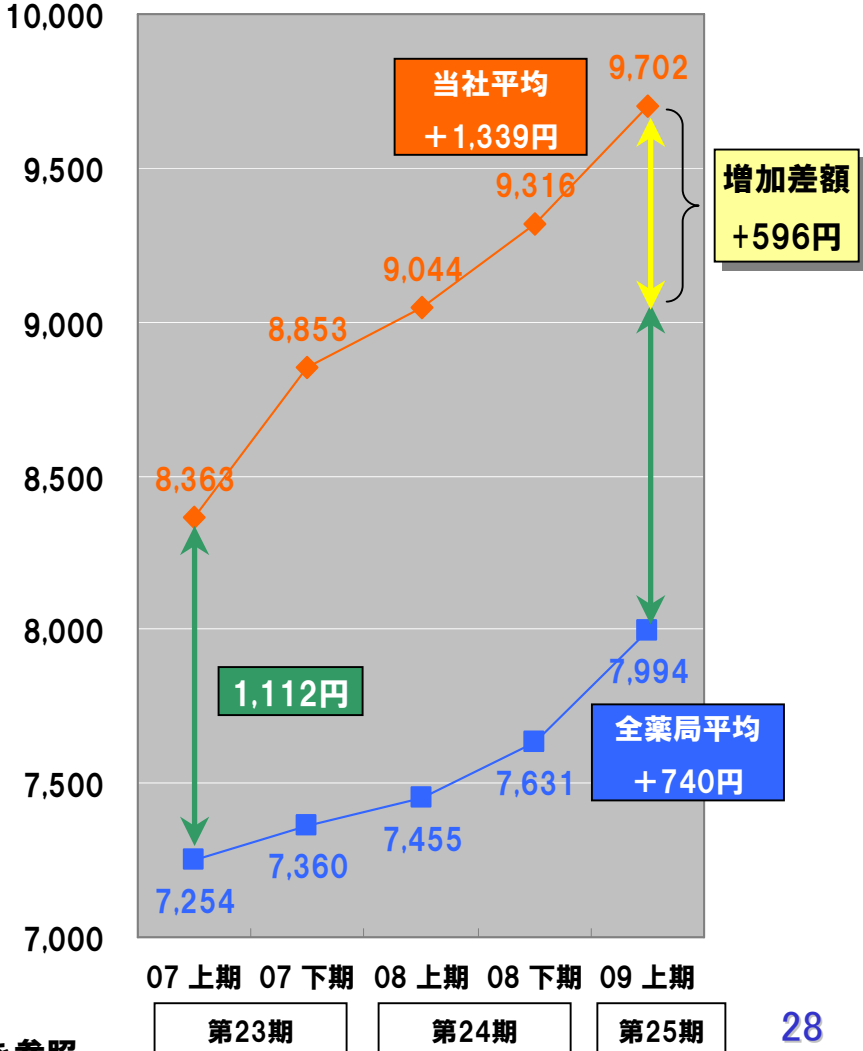
	第23期中間	第25期中間	増減
店舗数(店)	40	43	+3
薬剤料売上(百万円)	3,975	5,141	+1,166
技術料売上(百万円)	946	1,116	+170
1枚あたり処方せん単価	10,229	11,697	+1,468
(薬剤料単価/円)	8,263	9,610	+1,347
(技術料単価/円)	1,966	2,087	+121

## 【診療所 門前店舗】

	第23期中間	第25期中間	増減
店舗数(店)	28	28	+0
薬剤料売上(百万円)	1,052	1,107	+55
技術料売上(百万円)	523	511	▲12
1枚あたり処方せん単価	5,328	5,849	+521
(薬剤料単価/円)	3,558	4,000	+442
(技術料単価/円)	1,769	1,848	+79

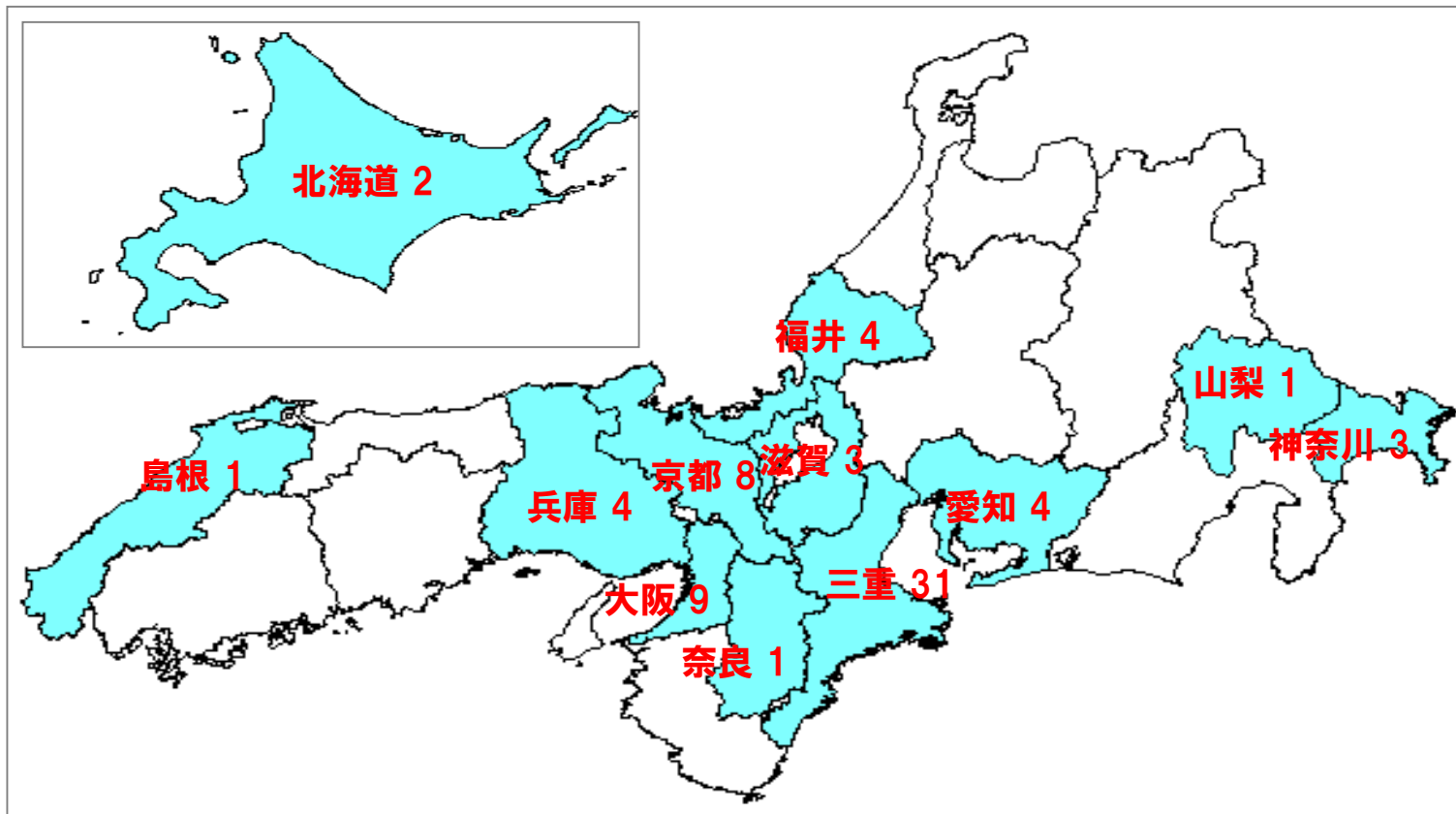
 (円)  
10,000

## 処方せん単価の推移



# 調剤薬局事業 出店状況

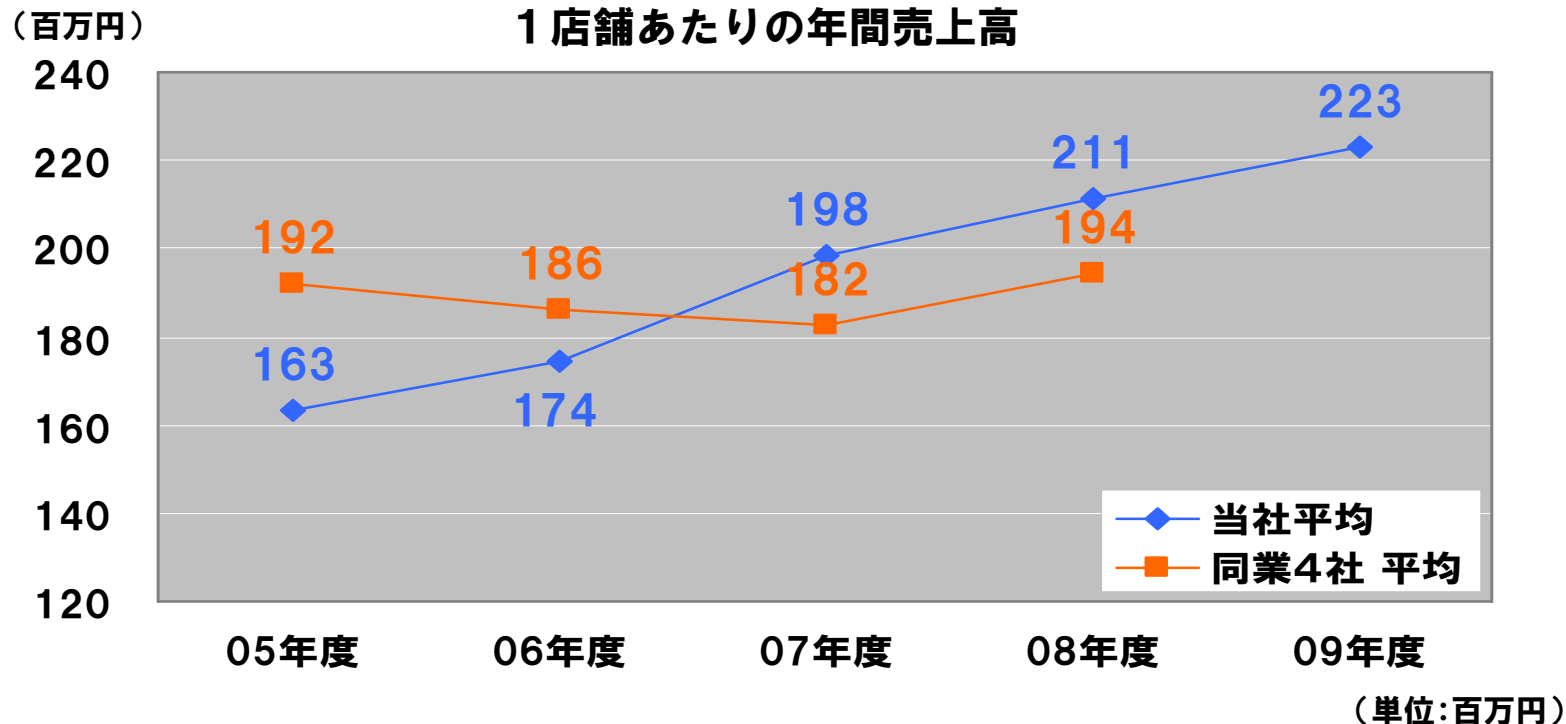
◆ 1道2府9県に71店舗展開



区分	病院	診療所	合計
店舗数	43	28	71

# ■ 調剤薬局事業

## 1店舗あたりの年間売上高



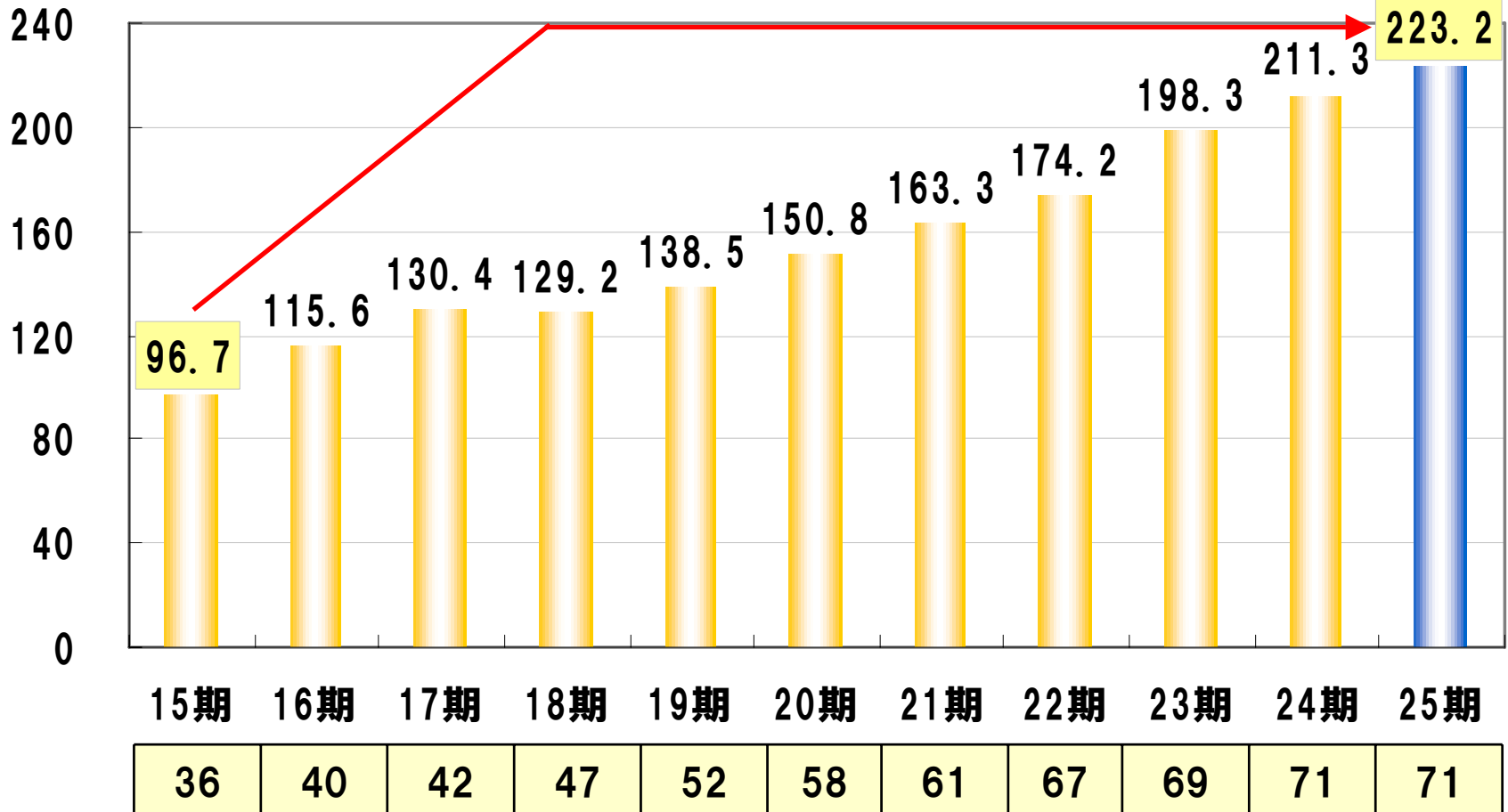
		05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
当社	期末店舗数	61	67	69	71	71
	1店舗売上高	163	174	198	211	223
同業4社	期末店舗数	379	415	518	564	
	1店舗売上高	192	186	182	194	

# 調剤薬局事業

## 1店舗あたりの年商推移

(百万円)

2.3倍に増加



※調剤店舗数(期末)

25期は上期の調剤売上高を年間ベースにして算出

# ■ 医薬品卸事業

## 事業内容と内部売上高

(単位:百万円)

	10年2月期 第2四半期累計		計画比	
	計画	実績	増減額	計画比
売上高合計	393	407	+14	+3.5%
医療機関売上	311	314	+3	+1.0%
内部売上	82	93	+11	+13.4%
営業利益	18	21	+3	+17.6%

### ■ 2008年4月 ジェネリック医薬品の使用促進策

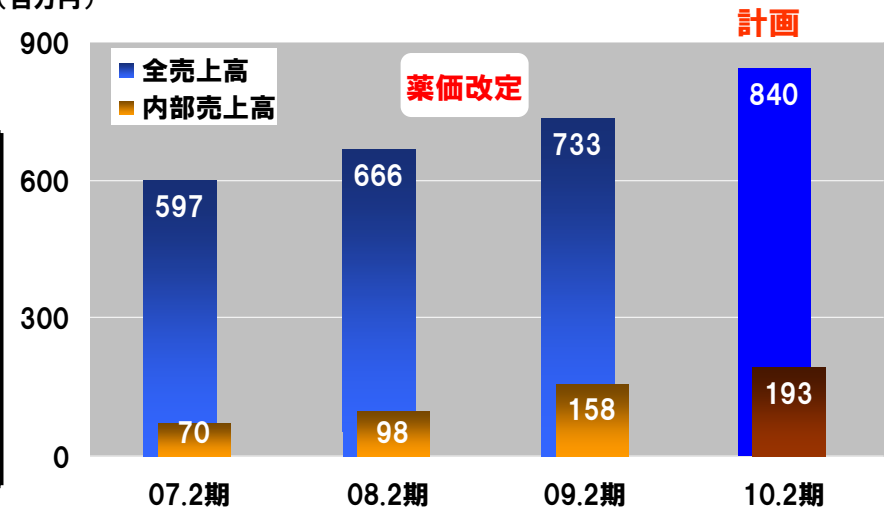
- |                                   |                                  |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| ① 医療機関に関して<br>処方箋料の加算<br>処方箋様式の変更 | ② 調剤薬局に対して<br>調剤体制加算 4点          |
| ③ 国立病院における使用<br>促進                | ④ 追補収載<br>2008年度から5月と<br>11月の年2回 |

### ■ 医薬品卸事業の売上高(内部売上高を含む)

(単位:百万円)

	薬価改定		薬価改定	
	07.2期	08.2期	09.2期	10.2期(予)
売上高合計	597	666	733	840
医療機関売上	527	568	575	647
内部売上	70	98	158	193
営業利益	25	28	27	45

(百万円)

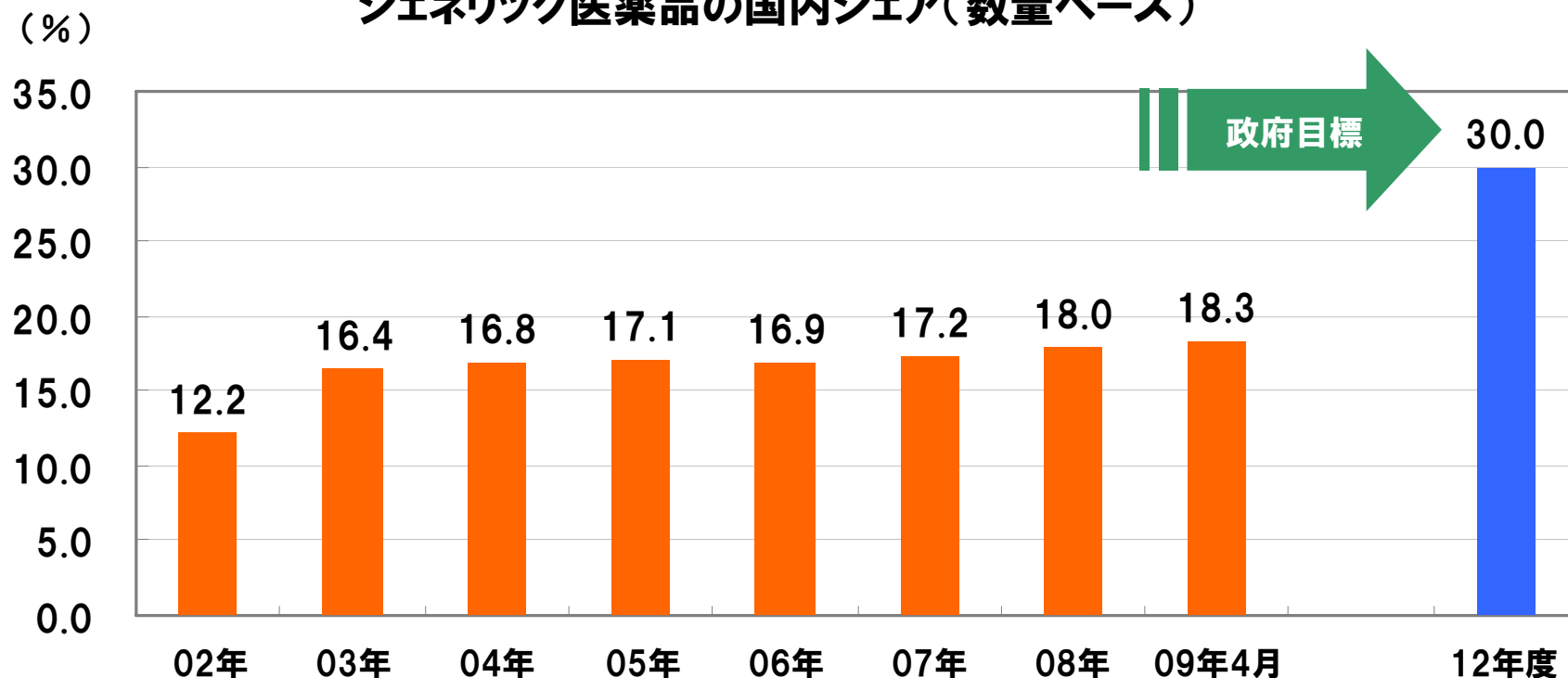




# ■ 医薬品卸事業

## ジェネリック医薬品市場

### ジェネリック医薬品の国内シェア(数量ベース)



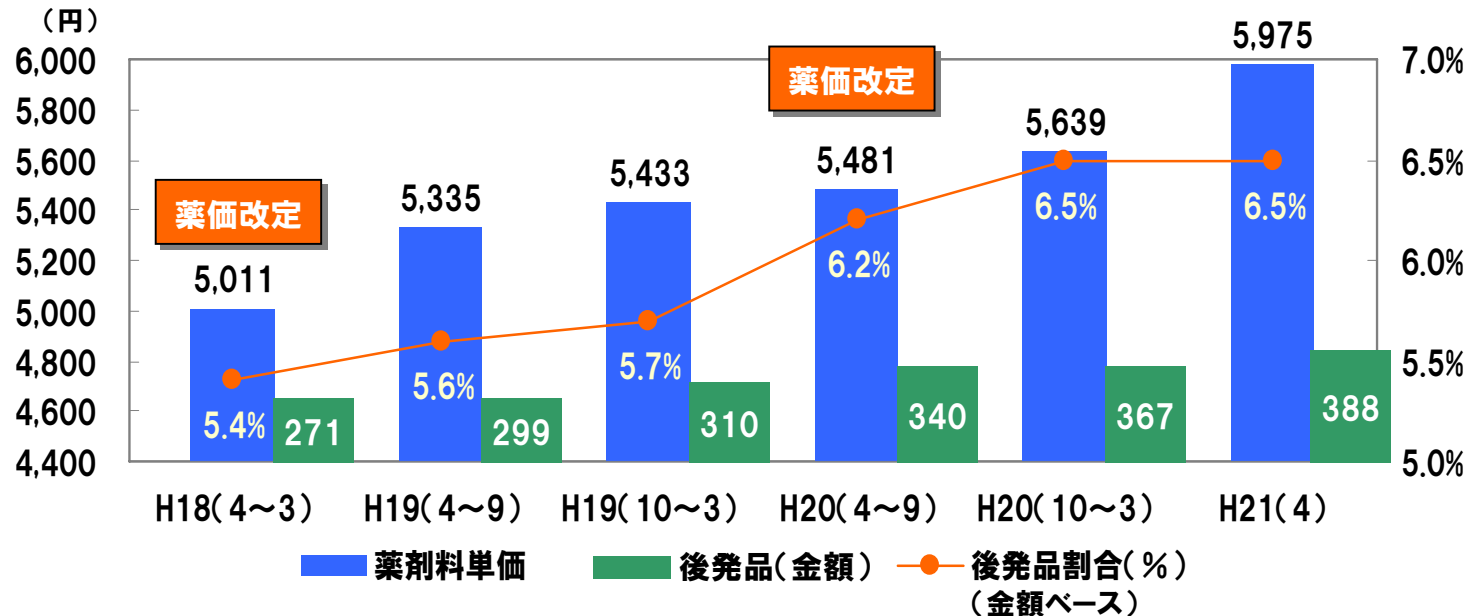
出所: 日本ジェネリック製薬協会 ⇒ 02年から07年

厚生労働省(医療費の動向) ⇒ 08年、09年4月

# ■ 医薬品卸事業

## ジェネリック医薬品使用率

全薬局の平均薬剤料単価と後発品の使用割合



出所:厚生労働省「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」

1. 薬剤料単価に占める後発品の使用割合は増加
2. 追補収載(後発医薬品として薬価収載されたもの)

- ①毎年、5月と11月の年2回実施
- ②ジェネリック医薬品市場は拡大

## ■ ヘルスケア事業

### ◆ 有料老人ホームの運営 / 医療関連施設の賃貸



(単位:百万円)

	2009年2月期			2010年2月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	通期計画
売上高	200	210	410	253	策定中	策定中
営業利益	38	3	41	39		

## ■ ヘルスケア事業の推進

### 【医療・介護のビジネスモデル】



**久居センター薬局**  
(調剤薬局事業)



**ハーモニーハウス津**  
(ヘルスケア事業)



**HISAIメディカルモール**  
(ヘルスケア事業)

## ■ CSR活動

### ◆ 三重大学小児科主催のサマーキャンプを後援



「三重大学小児科血液腫瘍外来サマーキャンプ2009」

開催日：2009年8月1日（土）～2日（日）

場 所：おおみや青少年旅行村大滝峡キャンプ場（三重県度会郡大紀町）

参加数：150名

## ■ お問い合わせ先

株式会社メディカルー光 IR担当

電話：059-226-1193(代表)

FAX：059-227-6107

E-mail：[ir@m-ikkou.co.jp](mailto:ir@m-ikkou.co.jp)

URL：<http://www.m-ikkou.co.jp>